

2011年5月6日

日本国際経済学会会員各位

日本国際経済学会第1回春季大会のご案内

東日本大震災に被災された皆様、また、被災地の会員の皆様には心よりお見舞い申し上げます。被災地の皆様の一日も早い復興・復旧をお祈り申し上げます。

さて、日本国際経済学会第1回春季大会が6月11日（土）、龍谷大学・京都深草キャンパスで開催されます。また、午後より、日本国際経済学会創立60周年記念シンポジウムが開催されます。ご参加くださいますようご案内申し上げます。なお、同封の出欠ハガキの返送および懇親会費の振込を6月1日までにお願いします。

1. 会場について（プログラムの5ページの地図をご参照ください）

大会は6月11日（土）に龍谷大学・京都深草キャンパスで開催いたします。

地下鉄「京都」駅から竹田方面へ10分、「くいな橋」駅下車、東へ徒歩約7分

JR「京都」駅から奈良方面へ7分、「稲荷」駅下車、南西へ徒歩約8分

京阪「祇園四条」駅から淀屋橋方面へ10分、「深草」駅下車、西へ徒歩約3分

京都駅からタクシーで約10分、1,000円程度です（「龍谷大学・深草・正門前」です）。

2. 受付・控え室について

受付は、21号館（地図番号⑬）5階エレベーター前で午前9時30分から開始いたします。

控え室は、21号館（地図番号⑬）6階603教室にご用意いたします。

3. 懇親会について

シンポジウム終了後、懇親会を開催いたします。懇親会会場は、4号館地下食堂（4号館：地図番号⑨）で、午後5時30分～7時00分を予定しております。奮ってご参加ください。参加希望の方は、**会費4,000円**を、6月1日までに下記のゆうちょ銀行口座に事前に振り込んでください。大会当日の場合は、受付で**会費4,500円**をお支払いください。

（送金先データは割愛しました）

4. 昼食について

昼食は、事前にお申し込みの場合のみ、お弁当（1000円：お茶代を含む）を用意します。事前に振込用紙にてお申し込みください。当日のお弁当は、ご用意できません。お弁当以外の方は、学内の生協（学友会館1階の食堂：地図番号⑨）、もしくは周辺の飲食店をご利用ください。役員の先生方にはお弁当をご用意いたします（当日1,000円徴収させていただきます）。

5. 宿泊について

各自で手配していただきますようお願いいたします。大学近くのアーバンホテル京都（TEL:075-647-0606 URL：<http://uh-urban.com/kyoto/index.html>）が便利です。龍谷大学まで徒歩5分です。また京都駅付近には多くのホテルがございます。

6. 大会のホームページについて

大会のプログラム、論文の掲載等につきましては、日本国際経済学会のホームページ（http://wwwsoc.nii.ac.jp/jsie/Annual_Conferences/Spring_1st/index.html）をご覧ください。

7. 報告者、討論者の皆様へ

会場ではPC用プロジェクターをご利用いただけます。特殊な形式をご希望の場合は予めご連絡ください。ウィンドウズはXP、マイクロソフトオフィスは2007バージョンです。

8. 役員会について

役員会は紫英館・2階大議室（地図番号：⑥）で開催されます。

連絡先

日本国際経済学会第1回春季大会
準備委員会 委員長 夏目啓二
事務局長 林 尚毅

〒612-8577 京都市伏見区深草塚本町67番地
龍谷大学経営学部 林尚毅研究室 気付
hayashi@biz.ryukoku.ac.jp

日本国際経済学会

第1回春季大会

The 1st Spring Meeting
The Japanese Society of International Economics (JSIE)

日時：2011年6月11日（土）

午前10時～午後5時30分

会場：龍谷大学（京都・深草キャンパス）

第1回春季大会プログラム委員会（50音順）

岩本武和（京都大学） 新保博彦（大阪産業大学）

中嶋慎治（松山大学） 夏目 啓二（龍谷大学）

東田啓作（関西学院大学）

●午前の部（午前10時～午後0時30分）

[報告30分、討論（予定討論と一般討論）20分]

分科会Ⅰ 貿易理論（会場：21号館503教室）

座長：岡本久之（兵庫県立大学）

1. 「Public Input, Accumulation, and Two-Country Trade」

報告者：柳瀬明彦（東北大学）／ 討論者：大土井涼二（大阪市立大学）

2. 「Expansion of FTA, Overlapping FTA and Market Size」

報告者：野村良一（東海大学）／ 討論者：川端康（名古屋市立大学）

3. 「産業の地理的集積と経済成長の理論分析」

報告者：Davis Colin Robert（同志社大学）／ 討論者：祝迫達郎（大阪大学）

分科会Ⅱ 国際マクロ・金融（会場：21号館504教室）

座長：岩本武和（京都大学）

1. 「なぜ中東欧危機は顕在化しなかったのか —バルト3国における多国籍銀行の動向を中心に」報告者：高橋和也（中央大学大学院）／ 討論者：Banincova Eva（神戸大学）

2. 「Monetary Autonomy in Emerging Market Economies: Role of Foreign Reserves」

報告者：田口博之（財務省財務総合政策研究所）／ 討論者：大野早苗（武蔵大学）

3. 「Determinants of Foreign Capital Inflows: Evidence from Resource-Rich Countries」

報告者：大野早苗（武蔵大学）／ 討論者：高木信二（大阪大学）

分科会Ⅲ 実証国際経済学（会場：21号館505教室）

座長：東田啓作（関西学院大学）

1. 「Multinationals in Services and Manufacturing Sectors: A Firm-Level Analysis using Japanese Data」

報告者：田中鮎夢（経済産業研究所）／ 討論者：丸山 佐和子（神戸大学）

2. 「Numerical Analysis of Noncontributors and Contributors with International Public Good: Post-Kyoto Protocol and ODA Policy」

報告者：宮越龍義（大阪大学）鈴木賢一（東北大学）／ 討論者：内藤巧（東京工業大学）

3. 「Exaggerated Death of Distance: Revisiting Distance Effects on Regional Price Dispersions」

報告者：武智 一貴（法政大学）／ 討論者：中島 賢太郎（東北大学）

分科会Ⅳ アジア経済（会場：21号館 506 教室）

座長：中嶋慎治（松山大学）

1. 「中国の内需拡大—マルサスの有効需要論の視点—」

報告者：劉 巍 (Liu Wei) (佐賀大学大学院) / 討論者：石田修 (九州大学)

2. 「ガラパゴス化は雁行形態的アジア観の終焉か」

報告者：三木敏夫 (札幌学院大学) / 討論者：西口清勝 (立命館大学)

分科会Ⅴ 多国籍企業（会場：21号館 507 教室）

座長：新保博彦（大阪産業大学）

1. 「中国東北振興における外資系企業の役割」

報告者：王 忠毅 (西南学院大学) / 討論者：唱 新 (福井県立大学)

2. 「オフショアリングとその問題点」

報告者：木下悦二 (九州大学名誉教授) / 討論者：中本悟 (大阪市立大学)

分科会Ⅵ 経済開発（会場：21号館 508 教室）

座長：西島 章次（神戸大学）

1. 「チリにおける 1990 年以降の貿易自由化政策と賃金格差」

報告者：村上善道 (神戸大学大学院) / 討論者：栗田匡相 (関西学院大学)

2. 「インド製造業の生産性と技術伝播：直接投資のスピル・オーバー効果の実証分析」

報告者：藤森梓 (大阪市立大学)・佐藤隆広 (神戸大学) / 討論者：小島眞 (拓殖大学)

3. 「インド製菓産業における生産性ダイナミクス：「年次工業調査」の個票データを利用して」

報告者：上池あつ子 (甲南大学)・佐藤隆広 (神戸大学)・アラダナ・アガルワル (デリー大学) / 討論者：石上悦朗 (福岡大学)

昼食（控室：21号館 603 教室：地図番号：⑬）

午後 0 時 30 分～午後 1 時 30 分

~~役員会（会場：紫英館 2 階・大会議室：地図番号：⑥）~~

~~理事会 午後 0 時 30 分～午後 1 時 30 分~~ **～午後 2 時**

~~会員総会（会場：21号館 604 教室：地図番号：⑬） 午後 1 時 30 分～午後 2 時~~

●午後の部（午後 14 時～午後 17 時 30 分）

日本国際経済学会創立 60 周年記念シンポジウム
アジア経済の新局面—金融危機から 3 年を経過して—

（使用言語：英語）

司会 木村福成(慶應義塾大学) 奥村隆平(名古屋大学)

基調講演 14:00～15:30

1. Robert Scollay (University of Auckland, New Zealand)
“Trans Pacific Partnership: Challenges and Potential”
2. Chalongsob Sussangkarn (Thailand Development Research Institute, Thailand)
“Institution Building for Macroeconomic and Financial Cooperation in East Asia”
3. Kar-riu Wong (University of Washington, USA)
“The 2008 Global Financial Crisis and the Chinese Economy”

休憩 15:30～15:45

コメント 15:45～16:30

浦田秀次郎(早稲田大学)
高木信二(大阪大学)
木下俊彦(早稲田大学)

パネル・ディスカッション 16:30～17:30

学会創立 60 周年記念事業実行委員会（50 音順）

岩本武和（京都大学）奥村隆平（名古屋大学）木村福成（慶應義塾大学）

懇親会（会場：4 号館地下食堂：地図番号：④）

午後 17 時 30 分～午後 19 時 00 分

◆会場案内

龍谷大学・京都深草キャンパス（京都市伏見区深草塚本町 67）



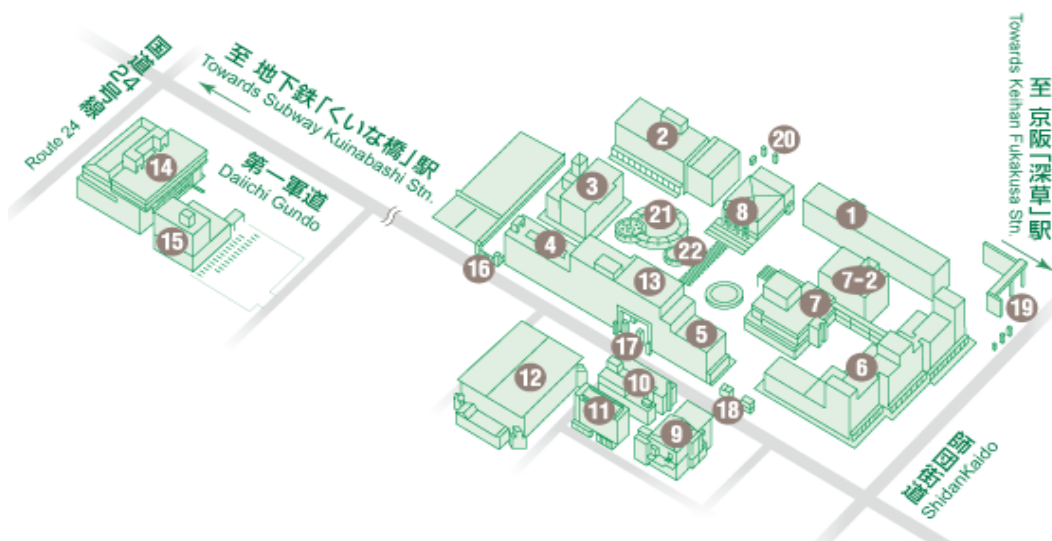
- 地下鉄「京都」駅から竹田方面へ「いなば」駅下車、東へ徒歩約7分
- JR「京都」駅から奈良方面へ「稲荷」駅下車、南西へ徒歩約8分
- 京阪「祇園四条」駅から淀屋橋方面へ「深草」駅下車、西へ徒歩約3分
- 京都駅八条口からタクシーで約10分、1,000円程度です。

◆構内案内

21号館5階（受付・分科会会場） 地図番号：⑬

紫英館2階大会議室（役員会会場） 地図番号：⑥

4号館地下食堂（懇親会会場） 地図番号：④



- ① 1号館 ② 2号館 ③ 3号館 ④ 4号館 ⑤ 5号館 ⑥ 紫英館 ⑦ 図書館 ⑦-2 8号館 ⑧ 顕真館 ⑨ 学友会館 ⑩ 紫朋館 ⑪ 紫陽館 ⑫ 体育館 ⑬ 21号館 ⑭ 紫光館 ⑮ 至心館 ⑯ 西門 ⑰ 正門 ⑱ 通用門 ⑲ 東門 ⑳ 北門 ㉑ カフェ樹林 ㉒ ステージ・回廊・芝生広場

日本国際経済学会第1回春季大会
〒612-8577 京都市深草塚本町 67
龍谷大学（京都・深草キャンパス）
準備委員会 委員長 夏目啓二
事務局長 林 尚毅
hayashi@biz.ryukoku.ac.jp

日本国際経済学会創立 60 周年記念シンポジウム
アジア経済の新局面—金融危機から 3 年を経過して—

(使用言語：英語)

日時：2011 年 6 月 11 日 (土) 14:00~17:30

会場：龍谷大学 (京都・深草キャンパス) 21 号館 604 教室

金融危機勃発後の世界経済においては、中国を中心としたアジアの回復が著しく、危機克服に貢献してきました。他方、アジアの輸出依存型成長モデルは、いわゆるグローバルインバランス是正の一環として変更を余儀なくされることも考えられ、巨額の資本流入がインフレや資産バブルに繋がる危険性も指摘されています。日本国際経済学会では、創立 60 周年記念シンポジウムにあたり、金融危機から 3 年を経過したアジア経済について、ニュージーランド・タイ・アメリカから第一線の研究者を招聘し、多面的に考察します。

司会 木村福成(慶應義塾大学) 奥村隆平(名古屋大学)

基調講演 14:00~15:30

1. Robert Scollay (University of Auckland, New Zealand)
“Trans Pacific Partnership: Challenges and Potential”
2. Chalongsob Sussangkarn (Thailand Development Research Institute, Thailand)
“Institution Building for Macroeconomic and Financial Cooperation in East Asia”
3. Kar-riu Wong (University of Washington, USA)
“The 2008 Global Financial Crisis and the Chinese Economy”

休憩 15:30~15:45

コメント 15:45~16:30

浦田秀次郎(早稲田大学)
高木信二(大阪大学)
木下俊彦(早稲田大学)

パネル・ディスカッション 16:30~17:30

報告者略歴

- ・ロバート・スコリー(ニュージーランド APEC 研究センター所長)
ヴィクトリア・オークランド大学やケンブリッジ大学にて学ぶ。1979 年からオークランド大学経済学部にて教鞭を執り、1995 年にはニュージーランド APEC 研究センター所長に任命される。専門は、経済統合、特にアジア太平洋地域の地域貿易協定、また多国間の自由化・グローバル化など。
- ・チャランポブ・スッサンカン(タイ開発研究所理事長、前タイ国財務大臣)
ケンブリッジ大学で Ph.D 取得後、カリフォルニア大学バークレー校で教鞭を執る。世界銀行、タイ開発研究所理事長を経て、2007 年 3 月より財務大臣に任命され、2008 年よりタイ開発研究所に戻る。
- ・カーユン・ウォン(アメリカ・ワシントン大学教授)
コロンビア大学で Ph.D 取得後、シアトルのワシントン大学で教鞭を執る。現在 Asia-Pacific Economic Association 会長。主著に、*International Trade in Goods and Factor Mobility*, MIT Press, 1995 (下村耕嗣・大川昌幸・太田博史・小田正雄訳『現代国際貿易論：財貿易と要素移動の統合理論』多賀出版,1999 年)。